

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
なないろStudy2nd(児童発達支援)		令和7年 4月 2日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		療育に必要なものを置かずに、広く使えるように心がけている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1		児童発達支援の利用者が少ない。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		一日の流れを可視化した掲示物を目に入るところに掲示しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		毎日清掃して、心地よい空間を設定しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	1	部屋は一緒ですが、壁で区切られた空間を使用できるようにしています。基本はあまり利用しませんが、気持ちを落ち着ける場所、集中して学習する場所として利用しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	2	目標に沿った療育を提供できるように、毎日申し送りを行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		モニタリングや送迎時、連絡のやり取りの時に相談事や意向を聞き取り、改善しています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		社員ですが、1on1を実施し、個々の意見を言える場を作っています。	社員とパートが話し合える時間をもう少し取っていききたいと思います。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	4	外部では行っていませんが、グループ内で評価、意見をいただいております。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		社内研修を定期的実施して、職員の知識の幅を広げています。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		5領域に沿ったプログラムをブログで公開しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		保護者からの聞き取り、日々の様子を踏まえて、計画書を作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	1	各職員から利用者の様子の聞き取りを行い、支援や目標の見直しを行っている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5			1年、半年での目標や支援を共通理解できるよう、システムを作っていきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	1	4		

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	1		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		新しい活動をするときは各々意見を出し合い、チームで話し合える時間を確保しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		新しい課題へのリアクション(反応)など、スタッフである程度共有して方法を模索しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5		学習のみならず、自由時間を利用し、集団活動をする時間も設けるようにしています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	2	全員出勤してから予定の確認と申し送りを行っている。新しく取り組むこと、気を付けることなど、重要なことは共有しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	4		次の日になることもあります。毎日できるように時間を確保していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		毎日記録を取り、今の支援が本当に必要な支援なのか話し合いの場を設け、検証・改善しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	1		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	3		現在、関係機関との連携は行っていないが、必要に応じて連携を図っていききたいと思います。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	3		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	3	保護者から学校へ情報を共有してくださっているため、こちらからは特にお伝えしていない。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	3			

保護者への説明等	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		5		療育時間が短時間のため、地域の他の子どもたちと活動する機会は今のところありません。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5		日々の様子はLINEで伝え、保護者の方が相談しやすいように工夫している。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		「何かご相談があればいつでもご連絡ください。」とお伝えしています。時折、保護者の方から連絡があります。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	2	年に数回開催しています。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		インスタグラム、ブログの更新をこまめに行っています。発信していることを広めるために、ブログを更新した時にLINEでお知らせするようにしています。	
42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5				
43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5				
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5		現在事例はありません。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		社内研修を定期的に行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		全員に情報を共有して、ファイルに対応方法の紙の用紙を入れている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	3	土曜日の活動は保護者に配慮点を聞き取りしています。アレルギー一覧表がすぐに見えるところに置いています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	2	定期的の確認し、子どもたちと一緒に訓練を行っています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	3		

51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		記録を残して、再発防止に努めています。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		グループ内で定期的に研修を実施しています。また、担当者は外部の研修を受講しています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	1	契約時に説明しています。	